



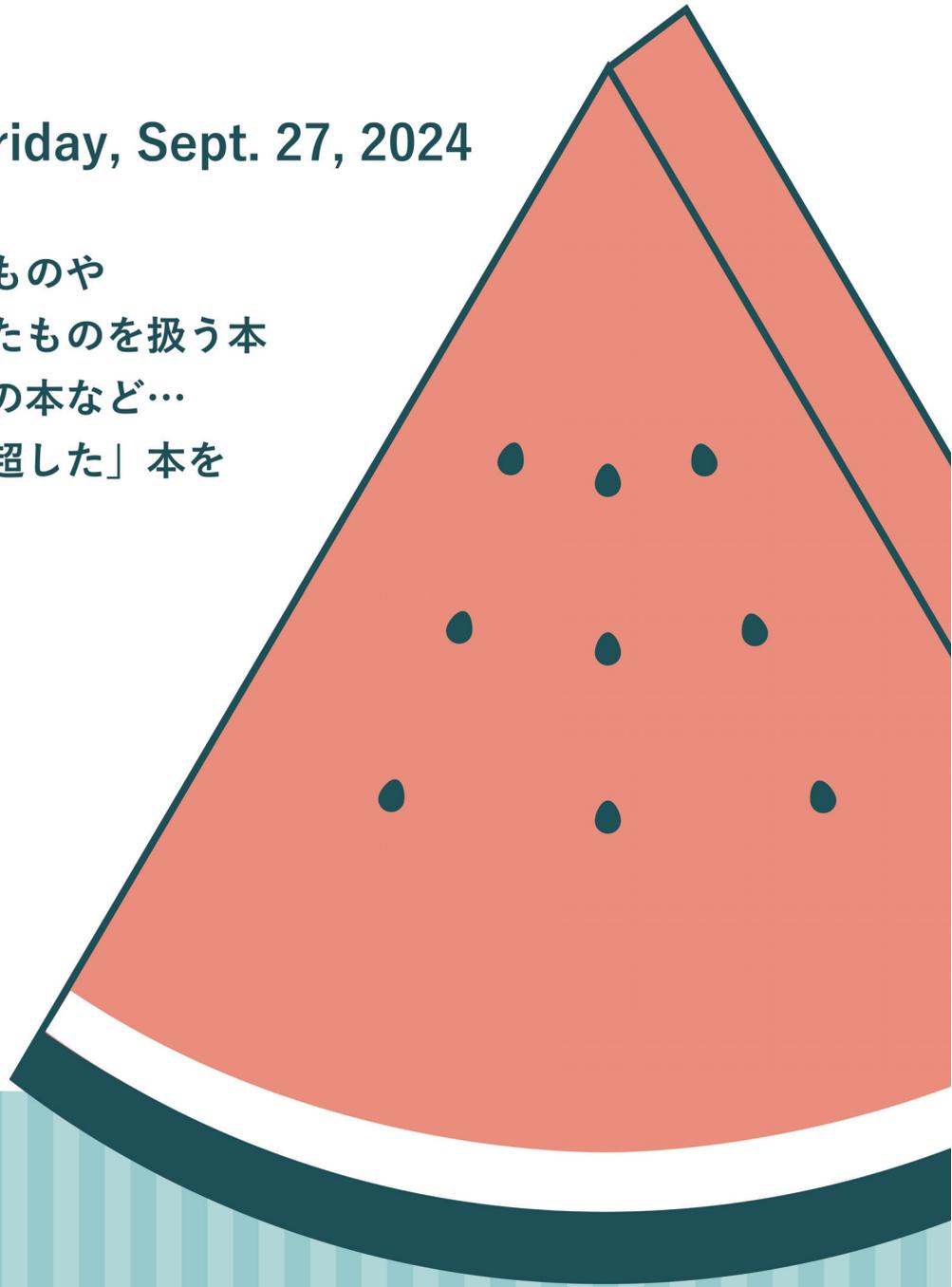
本で限界突破する

-Breaking through the Limit with Books-

図書館サポーター推薦

Monday, Aug. 5 - Friday, Sept. 27, 2024

想像を超えるスケールのものや
時間や空間が遠くはなれたものを扱う本
斬新な今までにない演出の本など…
非日常を味わえる「度を越した」本を
紹介します



●リストの見方

図書タイトル・著者

配架・請求記号

推薦文

蔵書検索
QRコード

●展示図書は、借り出すことができます。気になった本を手にとってご覧ください。
貸出中の図書を予約したり、他キャンパスの図書を取り寄せたりすることもできます。

●ブックレビュー

展示図書は、東工大図書館蔵書検索で、展示図書のページを開くと、
図書館サポーターの推薦文を見ることができます。

リストに掲載した URL・QR コードから、ぜひご覧ください。

●ブックログ

東工大図書館でこれまで実施してきた展示で取り上げた図書を、
ブックログでご紹介しています。

こちらをあわせてご覧ください。

<https://booklog.jp/users/lidance>

最後の秘境東京藝大：天才たちのカオスな日常 / 二宮敦人著

大岡山図書館 B1F- 一般図書 377.28/N

すずかけ台図書館 1F- ペリパトス文庫：和書 377.2/N

日本最高峰の芸術系大学に位置づけられている東京藝大。入試は才能勝負でありつつ東大を上回る日本屈指の倍率を誇ることで知られる。著者は藝大生である妻の妙な行動を機に藝大に興味を持ち、内部に潜入して様々な芸術家の卵に直接インタビューを行った。この本には、東京藝術大学に集う天才たちのカオスな大学生活が描かれている。枠にとらわれずに自由奔放に芸術に向き合う彼らの姿は、芸術とは何かといったところまで考えさせられる。



「ネコひねり問題」を超一流の科学者たちが全力で考えてみた
：「ネコの空中立ち直り反射」という驚くべき謎に迫る
／ グレゴリー・J・グバー著；水谷淳訳

すずかけ台図書館 1F- ペリパトス文庫：和書 404/G

落下したネコが必ず足から着地する「ネコひねり問題」について、たくさんの科学者がそれぞれの分野から研究した様子が記されている本。1つの問題について天文学や幾何学といった様々な分野から問題に取り組む。問題解決の過程で使われた物理学や写真技術についての背景知識や、科学者たちと猫とのかかわりなど多くの物語を読むことができる。ネコひねり問題から広がる科学的背景の量に圧倒され、読んでいて楽しい一冊。



宇宙人と出会う前に読む本

： 全宇宙で共通の教養を身につけよう / 高水裕一著

大岡山図書館 B1F- 一般図書 408/B/2176

この本は「惑星際宇宙ステーション」に地球人代表として派遣された読者が、宇宙での”常識”を学ぶ本である。地球上で当たり前とみなされていることが宇宙一般で当たり前とは限らない。例えばカレンダー。太陽系の太陽は1つだが、宇宙の半数以上の恒星は連星といって系の中に2つの恒星があるとされている。では連星系の惑星のカレンダーは私たちの地球と同じになるだろうか？この本で宇宙の基本常識を学べば、グローバルを超えたユニバーサル時代の惑星際交流にも対応できるだろう。



すごい古代生物：ようこそ、奇跡の「もしも動物園」へ
/ 川崎悟司著

大岡山図書館 B1F- 一般図書 457.8/Ka

すずかけ台図書館 1F- ペリパトス文庫：和書 457.8/Ka

「もしも動物園」というテーマの古代生物の本です。太古の「パンゲア大陸」をモチーフとした動物パークの各区域（現在の「大陸」）で生息していた古代生物を紹介し、わかりやすい解説とともに、その古代生物に関連する現代生物や作者の感想・コメントまで説明してあります。そのほかに、大陸の変化や、動物の進化と絶滅などの古生物学の知識もわかりやすく丁寧に書かれています。古代生物に詳しくなりたい、好きになりたい人には、想像を超えるこの一冊を是非おすすめします。



古生物の飼い方 / 土屋健著

すずかけ台図書館 1F- ペリパトス文庫：和書 457/Tu

今まで見たことがない題材で興味深い内容です。すでに絶滅している古生物をどのように飼育したらいいかをテーマに、一見あまり役に立たなそうな本だが、実際に読んでみたら意外と面白い本です。古生物を生息していた時代ごとに紹介し、化石から分かった情報をもとに、「もしも」の飼い方や注意事項を丁寧に説明しています。第一印象として、考古学の分野を「楽しく」かつ「簡単に」学べる本だと感じました。古生物に詳しくなりたい方には是非おすすめしたい、確かに想像の度を越した本です。



電子顕微鏡で見るミクロの世界：ビジュアルブック

/ 西永奨写真

大岡山図書館 B1F- 一般図書 460.87/D

東工大生の皆さんは走査型電子顕微鏡という言葉
葉を一度は聞いたり使ったりしたことがあるで
しょう。いわゆる SEM です。私たちは普段微細な
スケールのももの観察に用いますが、それと同時
に思ったことはありませんか？もし、身の回りの
ものを SEM で見てみたら一体何が見えるのかと。
この本はそんな思いを叶えた一冊です。植物や昆
虫をはじめ、細胞やはたまた電球のフィラメント
まで。めったに見ることのできないミクロの世界
が広がっています。



海底美術館 / ジェイソン・デカイレス・テイラー，
ジェームズ・バクストン著；内山卓則，尾澤和幸訳

大岡山図書館 B1F- 一般図書 717/Ta

すずかけ台図書館 1F- ペリパトス文庫：和書 717/Ta

日本には約 1000 か所の美術館がありますが、実は世界では海底にも美術館があるそうです。ジェイソン・デカイレス・テイラーによって海底に多数置かれた人間の彫刻と、海を泳ぐ魚やサンゴ礁などとのコラボが実現しました。哀愁漂う表情を浮かべた人間の彫刻と、ゆったりと泳ぐ魚や海の青さの組み合わせはとてもユニークであり、どこか寂しい雰囲気漂っています。ぜひ忙しい勉強や研究の間に海底美術館を眺めに来てください。



源氏物語と東アジア世界 / 河添房江著

大岡山図書館 B1F- 一般図書 913.36/Ka

「源氏物語」と聞いてどんな印象を持ちますか。「いづれの御時にか」という有名な出だしから紡ぎだされる、日本古来の純粋な和の心を表す文学として名高い源氏物語。果たしてそれは本当なのでしょうか。筆者は、光源氏が7歳で高麗人に出会ったことをきっかけに、物語の全体を通して東南アジアの影響が及んでいると述べています。先ほどの出だしの一節でさえもその影響を感じる手がかりになります。この本を読めば、源氏物語に今までになかった印象を抱くことでしょう。



壁 / 安部公房著

大岡山図書館 B1F- リベラルアーツ資料 913.6/A

すずかけ台図書館 2F- リベラルアーツ資料 913.6/A

ある日突然自分の名前がなくなったらどうする。名前がなくなるということは、自分の存在を証明するものが消失したということだ。それだけでも「度を超した」設定であるが、胸のど真ん中に穴が開いたと思えば、動物園のラクダがその穴に吸い込まれたり、そのせいで裁判に巻き込まれたり。私たちもこんな脈絡もない変な夢をたまに見ることがあるだろう。他人の夢の話ってなかなか聞いていられないことが多いが、それを作品レベルに昇華すると芥川賞すら取れてしまうのだ。



Another（アナザー） / 綾辻行人〔著〕

すずかけ台図書館 1F- ペリパトス文庫：文庫・新書 913.6/A/1～2

「三年三組っていうクラスは、”死”に近いところにあるの」。夜見山北中学三年三組に転校してきた榊原恒一は、常に何かを気にしているようなクラスの雰囲気違和感を覚えていたところ、クラスメイトの美少女ミサキ・メイからこのように告げられます。さらに謎が深まっていく中、クラス委員長の桜木が悲惨な死を遂げ、恒一やクラスメイトは理不尽な災厄の連鎖へと巻き込まれていく……。今年の夏は、本格ミステリの名手・綾辻行人による「度を越した」長編本格ホラーで涼んでみてはどうでしょうか。



ペンギン・ハイウェイ / 森見登美彦著

すずかけ台図書館 1F- ペリパトス文庫：和書 913.6/M

小学生の少年アオヤマは、ある日空き地で大量のペンギンを発見します。ペンギンたちはどこから来たのか調査を続けていると、普段から親しくしているお姉さんがペンギンを生み出していることが分かります。さらに〈海〉と名付けられた謎の球体まで登場し、ペンギンやお姉さんとの関係も徐々に明らかになっていき……。森見登美彦のユーモラスで緻密な描写が、ペンギンで溢れる「度を越した」不思議な世界へと誘います。



ペンギン・ハイウェイ / 森見登美彦著

すずかけ台図書館 1F- ペリパトス文庫：和書 913.6/M

「ペンギン・ハイウェイ」は小学生のアオヤマ君が、真夏の街に突如現れたペンギンの謎に挑む物語です。街中に大量のペンギンが現れるシーンでははまさに「度を越した」非日常感を与えてくれます。この不可解な現象を解明するため、科学的な好奇心と探求心を持って奮闘する姿は、日々研究にいそしむ東工大生にとっても心が躍るのではないのでしょうか。ぜひこの「度を越した」冒険を、今夏に体験してみてください。



残像に口紅を / 筒井康隆著

すずかけ台図書館 1F- ペリパトス文庫：文庫・新書 913.6/Tu

本書は” 章が進むごとに 50 音の一文字が消えていく” というルールに基づいて話が進む。例えば「あ」が消えれば「愛」も「あなた」も表現することができない。しかも会話文だけでなく本書のすべての文章からその文字が消えていく。ただルールを守るだけでなく自然な文章に仕上がっていることに著者の語彙力と作家としてのプライドを感じた。でも原稿が半分くらい書きあがったところで、もう止めたくなかったに違いない。度を超しているなあー。



天地明察 / 冲方丁著

大岡山図書館 B1F- 一般図書 913.6/U

すずかけ台図書館 2F- 一般図書 913.6/U

本書は地動説が知られる以前の日本で、初めて独自の暦を作り上げた渋川春海の実話をもとにしたストーリーです。そろばんしか存在しない時代でいかにして改暦を成し遂げたのか。歴史小説になじみがない人でも、算術への熱意から「度を超した」壮大な事業に挑むストーリーに、褪せることのない眩しさを感じていただけたと思います。この作品を読めばきっと、あなたのカレンダーを見る目も変わることでしょう。



くもをさがす / 西加奈子著

すずかけ台図書館 1F- ペリパトス文庫：和書 916/N

この本は、著者が実際に経験した、カナダでの乳がん発覚から寛解までの約8か月を書いたノンフィクションの作品です。コロナ禍における外国での闘病という、日常とは何もかも異なる環境に圧倒されます。病と闘っているからこそ余計に心に沁みるであろう、カナダの「度を越した」雄大な自然への描写がとても印象的でした。闘病という厳しい状況の中でも、自然や周囲の人の思いやりに目を向ける著者の姿に、とても感動しました。



グリム童話集：完訳 / グリム [著]；金田鬼一訳

大岡山図書館 B1F- リベラルアーツ資料 943/G/1 ~ 5

大岡山図書館 B1F- 一般図書 943/G/1 ~ 5

大岡山図書館 B1F- 文庫・新書 080/Ie/413

すずかけ台図書館 2F- リベラルアーツ資料 943/G/1 ~ 5

グリム童話は人生の過酷な一面、めぐりあわせ、幸福に関する興味深い話が多く収録されている。有名な物語として「ラプンツェル」「ヘンゼルとグレーテル」「赤ずきん」「ブレーメンの音楽隊」などがある。一度は聞いたことのある物語だが、手に取って読んだことのある人はいないのではないだろうか。私は「ラプンツェル」を初めて読んでみたが、映画で見るようなメルヘンの世界だけでなく、人間の欲望や、それに巻き込まれていく人たちの様子が盛り込まれており、奥深い味わいがある。このような物語との出会いは、人生を俯瞰的にみる視点を与え、読み手の人生を深めてくれるように感じた。あなたにぴったりのグリム童話は何だろうか？



星の王子さま / サン=テグジュペリ作 ; 内藤濯訳

大岡山図書館 B1F- リベラルアーツ資料 953.7/Sa

すずかけ台図書館 2F- リベラルアーツ資料 953.7/Sa

勉強、課題、研究、バイトなど、毎日忙しい東工大の皆さん。小さな星からやって来た王子さまと一緒に、宇宙へ出かけてみませんか。砂漠、バオバブの木、夕日、ウワバミなどなど、「星の王子さま」には度を越した非日常が沢山詰まっています。可愛らしい挿絵はなんと、作者サン=テグジュペリ自身が描いたものだそうです。大人たちの言動に考えさせられ、素直な王子さまに癒されて、読み終わった後には東京から眺める星空も普段と違うもののように見えてくるはずです。

